

履行評価結果

内容	項目	業務名	年度末			
			業務達成点	重要度点	評価点	
インプット評価	計画的維持管理業務	巡視点検業務	-	-	-	
		管路内簡易カメラ調査等業務(人孔を含む)	-	-	-	
		管路内目視調査業務	1	4	4	
		公共汚水樹点検業務	1	3	3	
		障害物除去業務	1	4	4	
	計画的改築業務	計画的な改築に係る設計業務	-	-	-	
		計画的な改築業務	1	4	4	
	ストックマネジメント実施計画関連業務	点検調査データ管理業務	1	4	4	
		ストックマネジメント実施計画の見直し業務	1	5	5	
	統括的管理業務	業務計画書及び報告書作成業務	1	3	3	
①小計			7	27	27	
アウトカム評価	道路陥没箇所数/対象管路延長		2	10	20	
	詰まり発生件数/対象管路延長		3	10	30	
	苦情件数/対象管路延長		3	10	30	
	②小計			8	30	80
	プロセス評価	計画的維持管理業務	巡視点検業務	-	-	-
管路内簡易カメラ調査等業務(人孔を含む)			-	-	-	
公共汚水樹点検業務			0	3	0	
管路内目視調査業務			1	3	3	
障害物除去業務			0	3	0	
計画的改築業務		計画的な改築に係る設計業務	-	-	-	
		計画的な改築業務	1	4	4	
ストックマネジメント実施計画関連業務		点検調査データ管理業務	1	3	3	
		ストックマネジメント実施計画の見直し業務	2	3	6	
統括的管理業務		一元的統括管理業務	0	3	0	
	業務計画書及び報告書作成業務	1	3	3		
③小計			6	25	19	
アクション評価	企画提案に基づく任意業務	緊急時対応の迅速性	1	4	4	
		点検調査データに基づくストマね検討	1	5	5	
		日常的な巡視点検における情報蓄積・報告	-	-	-	
		日常的維持管理業務支援マップの作成	1	4	4	
		効率的スクリーニング調査(自走式簡易カメラ)の活用	-	-	-	
	改築工事の品質確保に向けた取り組み(三者協議の開催)	1	5	5		
④小計			4	18	18	
⑤小計(=②+③+④)					117	
⑥合計(=①+⑤)					144	

	中間評価点	年度末評価点	総合評価
1年目 2018.10-2019.3	-	162	1.5
2年目 2019.4-2020.3	154	148	1
3年目 2020.4-2021.3	166	164	1.5
4年目 2021.4-2022.3	141	148	1
5年目 2022.4-2022.10	-	144	1

1枚ポートフォリオと目標達成シート(柏市)

対象年度 R4

1. 要求水準(目標)

目標	KPI
道路陥没数を減らす	道路陥没箇所数
管路閉塞による溢水件数を減らす	管路閉塞による溢水件数
苦情を減らす(悪臭, 蓋のガタツキなど)	苦情件数

2. 各業務評価点

評価	項目	業務名	満点50点							
			H30末	H31中末	H31中末	R2中末	R2中末	R3中末	R3中末	R4中末
プロセス評価	計画的維持管理業務	巡視点検業務	-	2	2	2	2	0	0	-
		管路内簡易カメラ調査業務(人孔含む)	6	4	4	4	4	-	-	-
		公共汚水樹点検業務	6	4	4	2	2	-6	0	3
		管路内目視調査業務	3	4	4	4	4	6	6	4
		障害物除去業務	3	2	4	2	2	0	0	4
	計画的改築業務	計画的な改築に係る設計業務	0	8	4	8	8	6	6	-
		計画的な改築業務	-	4	4	4	4	-	3	4
	ストックマネジメント実施計画関連業務	点検調査データ管理業務	3	2	2	2	2	3	6	4
		ストックマネジメント実施計画の見直し業務	-	-	-	-	-	-	-	5
	統括的管理業務	一元的統括管理業務	4	3	3	3	3	0	0	0
業務計画書及び報告書作成業務		2	2	2	2	2	0	2	3	
計		27	35	33	33	33	9	23	27	

3. 業務進捗状況

工種	種別	細目	単位	数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画的改築業務	管路内目視調査業務	目視	m	-	計画実績					
		TVカメラ	m	3,772	3,000	3,742				
	公共汚水樹点検		箇所	292	283	292				
			箇所	13	5	8	13			
	障害物除去業務		箇所	13	5	13				
			箇所	13	38	100				
人孔更生	□2700×2160		基	3	1	2	2	3	3	
			基	3	1	1	2	2	3	
	□2700×2160		m	203.43	200	202	203			
			m	203.43	181	199	100			

【コメント】

改築をメインとした全国的にも、例のない枠組みでの包括委託であったが、JV内部で事業工程等を良く調整し、滞りなく業務を完遂していた。

①道路陥没を減らす, ②閉塞による溢水を減らす, ③苦情を減らすための実施事項
 主な実施業務内容, 発生した問題・対処法等のポイントについて記載

第一4半期(4月~6月)

①道路陥没を減らす	②閉塞による溢水を減らす	③苦情を減らす	特筆すべき活動・その他業務
共通事項 四半期報告書によるアウトカム達成状況をJV内部で共有。また、毎月1枚ポートフォリオP3に実績入力。達成状況確認。	調査業務時に陥没予兆がある箇所を発見し、報告した。	調査業務時に障害物(木根・モルタル・油脂・取り付け管突き出し)がある箇所に関して除去作業を行い、閉塞による溢水を未然に防いだ。また、過年度調査結果を基に必要に応じ、障害物除去を実施。	・作業案内配布のルール化及び内容見直し。(市からの委託業務であることの説明強化) ・JV内にて苦情情報の共有化。 ・点検後の蓋のガタツキ防止のためクサビ使用推奨。
			・調査業務時に確認した破損等の異常対応(蓋交換)及び緊急性を要する事項の報告を行った。 ・市からの指示があり公共汚水樹点検結果から、詰まり蓋破損等の異常対応緊急性を要する事項の報告を行った。 ・過年度公共汚水樹点検実施分についても緊急性を要する異常の有無を確認。必要に応じ報告予定。

第二4半期(7月~9月)

①道路陥没を減らす	②閉塞による溢水を減らす	③苦情を減らす	特筆すべき活動・その他業務
共通事項 四半期報告書によるアウトカム達成状況をJV内部で共有。また、毎月1枚ポートフォリオP3に実績入力。達成状況確認。	調査業務完了に付き、特になし	調査業務完了に付き、特になし	・本業務委託最終四半期に付き成果品の整理及び引継ぎ計画書作成等実施。 ・業務2年目以降のコロナ禍に於いて、未実施となっていた提案事項について、代替案を検討・実施した。

目標達成シート

1. 要求水準(半年間)

	アウトカム指標	JV管理値(60%)	JV管理値(80%)
道路陥没件数	7	4件	5件
詰まり件数	47件	28件	37件
苦情件数	139件	83件	111件
通報から着手までの時間	2時間以内	2時間以内	2時間以内

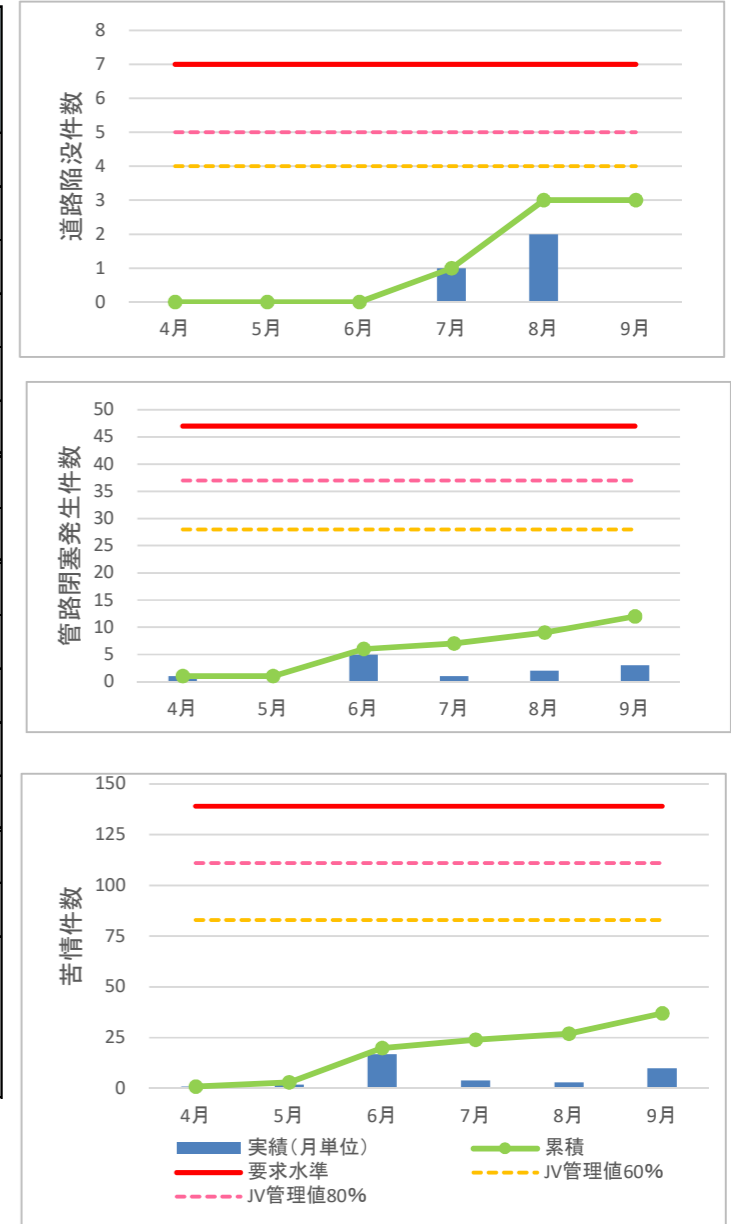
2. エビデンス

四半期報告書に詳細(苦情インフォメーション)を記載

3. 道路陥没/詰まり/苦情件数(2022年度実績値)

月	アウトカム目標(件数)						JV異常報告件数
	道路陥没件数		管路閉塞件数		苦情件数		
	実績	累積	実績	累積	実績	累積	
4月	0	0	1	1	1	1	0
5月	0	0	0	1	2	3	2
6月	0	0	5	6	17	20	8
7月	1	1	1	7	4	24	67
8月	2	3	2	9	3	27	0
9月	0	3	3	12	10	37	0
合計	3		12		37		77
平均	0.5		2.0		6.2		12.8
1年目	0	0	27	27	43	43	6
2年目	6	6	39	66	132	175	30
3年目	4	10	31	97	60	235	18
4年目	7	17	20	117	96	331	12
5年目	6	23	24	141	74	405	77
合計	23		141		405		143
平均	5.8		35.3		101.3		35.8
対象管渠延長(km)	1,280						

4. 実績値と基準値の比較図



5. 評価者のコメント

性能指標となるアウトカム目標については、本市が要求している数値を余裕をもってクリアしており、予防保全型における調査点検の成果と考えられる。
 また、企画提案における調査精度の向上を目的とした機器の使用等により、管路状態を正確に把握することが可能となっており、その結果をもとに、柏市の管路に潜在的に含んでいるリスク評価を行い、可視化することで、今後の管路施設の維持管理に反映することが可能となっている。